
目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査時期	1
3. 調査対象	1
4. 調査方法	1
5. 回収状況	1
6. 調査主体	1
7. 調査結果の分析者	1
8. 集計上の留意点	1
9. 標本特性	2
10. 回答者の概要	9

II 調査結果の概要

第1章 男女共同参画に関する意識

1. 男女の地位の平等感	10
2. 女性の社会的地位の変化	27
3. 男女平等になるために特に重要なこと	36
4. 「個性と能力を發揮できる社会の実現」の考え方	38
5. 「男は仕事、女は家庭」の考え方	40
6. 女性が職業を持つこと	44
7. 女性が職業を持つ続けられない理由	46
8. 進路や職業選択における性別意識	48
9. 「男もつらい」と感じること	50

第2章 子育てと両立支援について

1. 子どもの育て方	53
2. 子どもの進学目標	54
3. 出生率低下の原因	56

第3章 仕事・家庭生活・地域生活について

1. 男性の家事等への参加の促進	58
2. 仕事と家庭の両立支援の課題	61
3. 仕事・家庭生活・地域生活の両立（理想と現実）	63

第4章 暴力等について

1. 職場におけるセクシュアル・ハラスメント（セクハラ）の原因	66
2. ドメスティック・バイオレンス（DV）の言葉の認知度	68
3. ドメスティック・バイオレンス（DV）の相談機関の認知度	69
4. ドメスティック・バイオレンス（DV）をなくすために必要なこと	71
5. ドメスティック・バイオレンス（DV）の被害経験	74
6. ドメスティック・バイオレンス（DV）相談状況	76
7. ドメスティック・バイオレンス（DV）を相談しなかった理由	79

第5章 男女共同参画の推進について

1. 指導的立場の役職への女性の進出	81
2. 地域等の団体の代表に女性が少ない理由	88
3. 方針決定の場に女性の参画が少ない理由	90
4. 職場における推進施策	93
5. 農林水産業における推進施策	95
6. 防災・災害復興対策における性別への配慮の要否	97
7. 防災・災害復興対策における性別への配慮が必要なこと	98
8. 行政への推進施策の要望	100
9. 男女共同参画の言葉の認知度	102

第6章 性的少数者（LGBT等）について

1. LGBTの認知度	106
2. 身体の性、心の性の悩み	107
3. 現在の社会は性的少数者にとって生活しづらいか	108
4. 性的少数者にとって生活しづらい理由	109
5. 性的少数者にとって生活しやすい社会の実現	110

第7章 自由意見

第8章 調査結果の考察と今後の課題

1. はじめに	112
2. 「男女平等」に関する意識特性	113
3. 固定的な性別役割分担意識と女性の就業	114
4. 地域社会における女性の参画	116
5. 女性に対する暴力と「性的少数者（LGBT等）」	118
6. 男女共同参画社会をめざして	121
7. おわりに	122

III 資料編

1. 令和2年男女共同参画に関する市民意識調査票	124
--------------------------	-----